

島根県公共事業再評価 評価結果（案）

作成日 平成25年 5月

番号	事業概要・事業主体等	事業の進捗状況	事業採択時の状況及び社会情勢の変化等	事業効果	環境への配慮 事業を中止した場合の影響	今後の県の方針案
	(事業概要) (事業主体の根拠)	(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) (進捗状況と今後の見込み)	(事業導入の経緯・目的) (事業を取り巻く社会情勢) (事業に対する地元情勢・計画の熟度)	(費用対効果) (コスト縮減・代替案等) (その他の効果)	(生活環境・自然環境への影響) (事業を中止した場合の影響)	(継続・中止)
11	<p>(事業名・地区) 十間川広域河川改修事業</p> <p>(事業位置) 出雲市湖陵町地内</p> <p>(事業費) 6,202,800 千円</p> <p>(事業概要) 全体延長 L=7.55km 差海川 L=1.80km 神西湖 L=3.00km 十間川 L=2.75km 築堤、掘削、護岸、樋門、橋梁、堰</p> <p>(事業主体の根拠) 河川法第9条2項</p> <p>(再評価区分) ④再評価実施後5年経過し継続中</p> <p>(担当部課名) 土木部河川課</p>	<p>(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) 事業採択年度：S50 年度 用地着手年度：S51 年度 工事着手年度：S51 年度 完了予定年度：H32 年度 経過年数： 38 年</p> <p>(進捗状況と今後の見込み) 進捗率： 42% 用地： 29% 工事： 46%</p> <p>差海川 塩分調整堰 H22 完成 工事完了 H25 年度予定</p> <p>神西湖 工事完了 H32 年度予定</p> <p>十間川 工事完了 H32 年度予定</p>	<p>(事業導入の経緯・目的) 神西湖周りの低い低湿地帯に位置し、日本海に通じる差海川断面の狭小による神西湖水位の上昇そして神西湖流入河川の断面狭小が河川背後地への浸水被害を発生させている。昭和 39 年、47 年の 2 度にわたる大水害を契機に抜本的な治水対策を必要とし、昭和 51 年より河川改修に着手した。</p> <p>(事業を取り巻く社会情勢) 神西湖、十間川下流部周辺の平坦地には田園地帯が広がる一方、上流部では、山陰道、国道 9 号、出雲インター線の整備が進められており、西出雲市駅周辺に新しい施設が整備されるなど都市化傾向が進み、交流人口、定住人口が増加傾向にあり、出雲市西部の拠点として発展している。</p> <p>(事業に対する地元情勢・計画の熟度) 平成 16,17 年度に地元代表者及び学識経験者等で組織する検討会を開催し、その検討結果を H20 策定した河川整備計画に反映していることから、地元の関心は高く、神西湖利用や十間川未改修部の要望は強い。</p>	<p>(費用対効果) B/C=1.56</p> <p>(コスト縮減・代替案等) 築堤材料について建設発生土の有効利用を図る。 段階的施工により事業効果の早期発現を図る。</p> <p>(その他の効果) H22 供用開始した塩分調整堰の適正な操作により、神西湖の良好な汽水環境を保全する。 神西湖湖岸堤の築堤により湖岸の散策スペースが確保され、ふれあいの場が創出される。</p>	<p>(生活環境・自然環境への影響) 学識経験者及び漁業関係者等との協議により、湖岸堤の設置にあたっては、汽水湖である神西湖の特色ある生物の生息環境、特に漁業資源としても重要なヤマトシジミの生息域の創出・保全に配慮した計画としている。</p> <p>(事業を中止した場合の影響) 浸水年 S39,47,56,59,60,61,63 H 元,5,6,7,8,9,13,14,15,16,17,18</p> <p>被害実績 S39:浸水家屋 1829 戸 浸水面積 660ha S47:浸水家屋 318 戸 浸水面積 391ha</p>	<p>(方針案) 継続</p> <p>(継続・中止の理由) 下流の差海川工区は完成しているが神西湖を含めた上流域は未だ治水能力が低い。 流域全体の治水効果を発揮するには、神西湖の湖岸堤を整備し、貯留能力を確保するとともに、上流の浸水被害防止のためには十間川工区が必要不可欠である。 したがって事業を継続し、早期の治水能力向上を図りたい。</p>

総合的な水の安全安心基盤整備

十間川 広域河川改修事業

河川概要

十間川は神西湖周りの低い低湿地帯に位置し、日本海に通じる差海川断面の狭小による神西湖水位の上昇そして神西湖流入河川の断面狭小が河川背後地への浸水被害を発生させている。昭和39年、47年の2度にわたる大水害を契機に抜本的な治水対策を必要とし、昭和51年より河川改修に着手した。

事業概要

- ・護岸工及び掘削により差海川の流下能力を向上させ、浸水被害の防止を図る。
- ・神西湖の低地部に湖岸堤を築き、貯留機能を向上させる。
- ・上流部は築堤、掘削、護岸により河幅を拡幅し、計画流量を確保する。

